



2025年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社システムリサーチ
代表者名 代表取締役社長 平山 宏
(コード番号：3771 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 取締役管理本部長 太田吉信
電話番号 052-413-6820 (代表)

(訂正・数値データ訂正)
「2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2025年10月28日に公表いたしました「2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせします。
訂正箇所は__線で示しております。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正理由

2025年10月28日に公表いたしました、2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信において、中間連結キャッシュ・フロー計算書および関連する箇所の記載に誤りがありましたため、当該事項につきまして訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正の箇所は下線を付しております。

(2) 財務状態に関する説明

②キャッシュ・フローの状況の分析

【訂正前】

(中略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、380百万円(前年同期は287百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,530百万円などの増加要因が、法人税等の支払額509百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

(中略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、1,082百万円(前年同期は764百万円の減少)となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入420百万円、長・短期借入金の返済による支出544百万円や配当金の支払額993百万円などによるものであります。

【訂正後】

(中略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、415百万円（前年同期は287百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,530百万円などの増加要因が、法人税等の支払額509百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

(中略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、1,118百万円（前年同期は764百万円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入420百万円、長・短期借入金返済による支出544百万円や配当金の支払額993百万円などによるものであります。

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他	△282,253	△371,419
小計	659,116	894,271
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,676	380,093
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	二	35,901
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,763	△1,082,587

【訂正後】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他	△282,253	△335,518
小計	659,116	930,172
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,676	415,994
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,763	△1,118,488

以 上